

今回も校外の活動の報告と
校内の行事予定や報告です。

PTA 便り



— 学 級 委 員 会 —

10月28日(月) 8部会合同研修会 学級委員会分科会 参加

長井小学校 高学年図書室にて 10時～12時 『学校と保護者と地域の関わり方』というテーマで長井中学校の内村新一先生(登校支援相談員)長井小学校の市村美幸先生(ふれあい相談員)と座談会のような形の分科会でした。それぞれの体験談などを話したり、情報交換をしたり有意義な会合でした。

12月14日(土) 餅つき 今年度は新たな試みを含め、学校・地域の方々と準備をすすめています。



— 保 健 厚 生 委 員 会 —

10月28日(月) 8部会合同研修会 保健委員会分科会 参加

大楠小学校にて 10時～12時 『風邪に負けない体作り』というテーマの岩田益夫栄養士の講演を聞きました。大切な食事・運動・睡眠について、わかりやすく、ためになるお話でした。その後、今後の活動の参考になる情報交換をしました。

11月18日(月) ヨガ講習会 報告 11名参加

ヨガインストラクター 瀬崎直子さんのご指導のもと、ヨガの入門編ということで1時間半近く体を動かし、心身ともにリフレッシュしました。



— 成 人 委 員 会 —

12月18日(水) プリザーブドフラワーで作るコサージュ講習会

長井中学校 4F図書室にて 10時～12時 参加費:1,500円 講師:嘉山 理恵さん
来春、卒業・入学を控えた中学3年生と小学6年生の保護者を対象に、生花に特殊な加工を施し、見た目は生花と変わらず水なしで鮮やかな美しさを長期間保つことができるプリザーブドフラワーでコサージュを作ります。



— 広 報 委 員 会 —

11月6日(水) 『暖流195号』(小中合同レク・文化発表会・部活紹介・PTA便り)発行

11月13日(水) 8部会合同研修会 広報委員会分科会 参加

大楠中学校 視聴覚室にて 10時～12時 『読みたくなる広報誌』というテーマでフリーエディトリアルデザイナーでありPTAの広報委員長経験者でもある西田充志氏の講演を聞きました。情報交換も含め広報委員会の可能性の広がりを感じることでできる時間となりました。

編集後記...木枯らし吹く季節になりました。寒さ対策はできていますか? 防災アンケートでは多くの保護者の皆さまにご協力いただきありがとうございました。1つの家庭では思いつかないような案をたくさんいただきました。早速にでも参考にし、出来ることから災害に備えてみてはいかがでしょうか? 在校生はもちろん、卒業生も楽しみにしていた石井先生の中学時代のお話。ものづくりの素晴らしさを子ども達に伝えてくれる先生の熱い思い、1ページの《創造ものづくり教育フェア》の成果の始まりがわかりましたね。次号は年明けの予定です! 風邪やインフルエンザに気を付けて、この冬も長井パワーで乗り越えましょう!!

平成25(2013)年度

ものづくりフェア報告・防災を考える・PTA便り

196号

発行

平成25年(2013年)12月3日

横須賀市立長井中学校 PTA 広報委員会

横須賀市長井5-12-1 ☎046-856-2022

暖 流



第14回 全国中学生

—11月9日(土)—



創造ものづくり教育フェア In かながわ



「ものづくりは 人づくり 国づくり」の理念のもと、14 回目を迎えるこの大会に、今年も長井中から3つの部門に参加しました。

先日受賞した『ものづくり日本大賞・文部科学大臣賞』の受賞理由にもなった取り組みの1つです。科学部・家政部の活躍を紹介します。今後の活動にも応援をお願いします!

あなたのためのお弁当コンクール

夏休み前からメニューの考案・応募書類の作成を行い、50チーム参加した大会で練習の成果を十分に発揮し、好成績を収めました。鈴木前校長先生、山口栄養教諭をはじめ様々な方にご協力をいただき、調理台の使い方・声掛けなどたくさんのお褒めの言葉をいただく作業ができました。



2位(神奈川県教育委員会教育長賞受賞)
なりあスマイル
山田 風沙さん(2-3)
田口 梨乃さん(1-2)
三田 愛綺さん(1-2)



3位(神奈川県文化連盟会長賞受賞)
long☆girls~四代目
長谷川 愛采さん(2-2)
三田 真綺さん(2-1)



長井チャレンジ号
沼田 尚之さん(3-2)
片山 真博さん(1-1)
進藤 瑠直さん(1-2)



永松 辰樹さん(2-2)
山田 琢渡さん(2-3)

創造アイデアロボットコンテスト

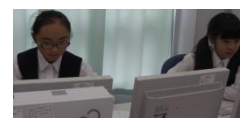
8月の市大会から短期間で改良を行い参加しました。長井ドリーム号は3位(神奈川県中学校文化連盟会長賞)になり12月1日栃木県で行われた関東甲信越地区大会に出場しました。(結果は又ご報告します)。長井チャレンジ号はベスト8・アイデア賞を受賞しました。



長井ドリーム号
鳥羽 喜海さん(2-3)
中西 健琉さん(1-1)
高原 孝平さん(1-1)

パソコン入力コンクール

5分間の課題文入力を正確に行う競技で、高い集中力を発揮し、永松さんが5位、山腰さんが7位入賞を果たしました。



山腰 未由さん(1-1)
黒瀬 海結さん(1-1)

長井の力を集結し 大健闘!!



今後も応援をよろしくお願いします。



栗江先生、事務の金田さん、用務員の鈴木さん、浅野さんのご協力をいただき、PTAより立派な横断幕が贈られました。国道沿い(ソレイユ入口)にも出させていただきましたので一度ご覧下さい。

第101回 石井 伸一 先生(3-3担任・技術 家庭科・科学部 家政部顧問)

私の中学時代の思い出は、一九八八年(当時中学二年生)第一回NHK高等学校ロボットコンテストです。そのロボットコンの内容は「単一乾電池二個で体重六〇kg以上の人を自作の車に乗せて三五m運ぶ一対一のスピードレース」でした。私は、そのロボットを見て衝撃を受け「私がやりたいかったことはこれだ!」と思いました。ロボットといえば、専門家が研究して作るものと思っていた私にとって、学生がロボットを作り、しかも相手と対戦して性能を競い合うロボットは魅力的でした。しかし、当然のことながら中学生大会はなく、私がロボットに参加することはできませんでした。(ちなみに、その後もロボットに参加する機会には恵まれませんでした。)また、小学生のころから将来の夢が「学校の先生」だった私は、何の教科の先生になろうか悩んでいました。父親の影響で「ものづくり」を体験する機会が多かった私にとって、中学の技術・家庭科を選んだことは自然の流れですが、中学生時代に見た「ロボット」の影響も大きかったと思います。長井中学での八年間「ロボット」の活動を学校や地域の皆さまに理解して頂き、中学時代の思いを指導者として実現している今、大変充実した日々を送っています。中学時代の経験や思いが、将来花開くこともありそうです。そのチャンスが到来したとき、全力が出来るように準備しておくことが大切だと思います。



ロボットの衝撃の出会い



～アンケートにご協力、ありがとうございました～

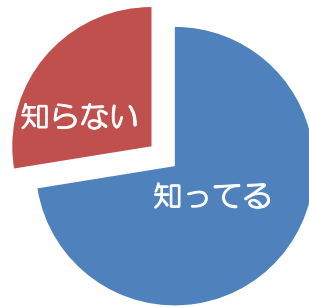
先月、保護者の方を対象に《防災に関するアンケート》をお願いしました。細かい記述の多いアンケートでしたが90近いご家庭から回答をいただきましたので、そこから見えてきたものをいろいろな視点でまとめました。この結果を参考に各ご家庭、各地区でも《防災について》考え、備えるきっかけになればと思います。

今回、持ち出し用防災グッズ・備蓄品については特に、たくさんの回答をいただきました。皆さまの参考になればと、リストを作り付録としてお付けしますので、各ご家庭ならではの物も付け足し、活用していただけたら…と思います。

防災ピクニックのすすめ

回答いただいたほとんどの方が、持ち出し用防災グッズや備蓄品などの準備をしていました。同時に、それらを維持管理するのは難しいという声もありました。大きな災害の後など、1度はリュックに詰めてみるものの、その後の点検や入れ替えなどを定期的にするのは大変です。また、実際に背負ってみると重くて長くは歩けそうもない…とか。子どもの成長に伴い、中身の見直しも必要となってくるでしょう。

ある日の新聞記事で見つけたのが《防災ピクニック》です。実際に用意した防災グッズを持ち避難所までの経路を確認しながら歩き、非常食を食べてみるというものです。試す価値がありそうですね！



小学校・中学校どちらの避難所に行くか知ってる？

小学校・中学校 どちらに避難するか確認してください！

小学校

漆山・東・大久保
新宿・番場・屋形
荒井・長浜

中学校

小根岸・松ヶ崎・岡崎
市営・仮屋ヶ崎・井尻
大木根・地区外

～学校からのメッセージ～

学校防災および広域避難所については行政（横須賀市）や地域（長井連合町内会）と一緒に検討しています。保護者・地域の両方の立場から協力をお願いします。



各ご家庭で話し合っていること・工夫していることをご紹介します。

「地震があったら、学校へ」ということを子どもに繰り返し伝える。

携帯電話の災害用伝言板の使用方法を確認する。

着替えや毛布など被災時に必要なものを、ビニール袋に入れて2階の押入れの天袋にしまっている。

東日本大震災の時、三浦半島など近い場所で携帯電話が繋がらなかったため、遠方に家族の連絡中継をお願いしている。

我が家の防災会議

家族一人一人の避難用リュックを用意している。

車のガソリンはなるべく満タンにしておく。

寝室に靴を置いている。

ペットがいると避難所に入れないかもしれないから、車でソレイユ方面に避難する。

非常食の賞味期限が近くなったら、ロウソクの灯りで避難シミュレーションディナーをして、次に購入する非常食を検討している。

携帯電話の充電がなくなった時の為に家族の連絡先を紙に書いて持ち歩く。

小さい子や高齢者、ペットもいるので、避難する時や迎えに行く役割分担を決めている。

備蓄というわけではないが、乾物・缶詰・カップ麺など非常食にもなる食べ物を切らさないようにしている。

避難所での集合場所と時間を決めている。

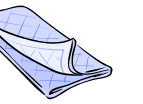
いらなくなった子ども用の紙オムツやペット用のシートなど非常時のトイレに使えるものはとってある。

コンタクトレンズ（保存液を含む）や常備薬など必携品は常に持ち歩くようにしている。

防災対策のヒントは見つかりましたか？



学校(避難所)には何があるの？



アンケートで『学校（避難所）に備えてあるといいと思うものは？』という質問をしました。様々なものが上がりましたので、学校に現状で準備されているかどうかを聞いてみました。これも、今後 各家庭で準備すべきものを考えるときの参考になるのではないかと思います。また、津波の心配のある長井の地域住民として、避難所に備えておきたいものを一緒に考えていくことも必要かもしれませんね。

	あ る	数	な い	今後検討	準備不可	
飲料水	○	288				
非常食	○	270				
非常食 乳幼児・高齢者用のやわらかいもの			○	○		
毛布	○	280				それ以外に予備あり
暖房器具・照明器具	○	4				
発電機	○	1				
衛星電話			○		○	非常用携帯電話あり
救急セット	○					
携帯用酸素ボンベ			○	○		
生理用品			○	○		
幼児用紙オムツ	○	528				
高齢者用紙オムツ	○	71				
使い捨てマスク			○	○		
仕切り用のパーテーション	○					
ヘルメット	○	40				職員用

上記のもの以外にも、少数意見ですが・パイオトイレ（水の代わりに自転車をこぎオガクズなどを混ぜ分解する）・炊き出し道具・防寒着・携帯電話用充電器・カイロなどもありました。また、提案型として・水、食料を生徒が入学したときに各自で購入してもらい、卒業時に返却する。・生徒用のヘルメットをそろえることはできないか？ ものではありませんが・屋上への避難訓練を実施して欲しい。・『協力して行うという心構え』を子ども達に持って欲しい。今回、皆さんの知恵や工夫、様々な立場や環境からのご意見を知り、またそれを皆さんに伝えることができ、今後の防災を考える上で、とても意義のあるアンケートになったと思います。ご協力ありがとうございました。

防災チェックリスト

暖 流
196号
付 録

さまざまな防災のためのリストから分かったことは、準備しておくものが、大きく分けて3つあるということです。
① 常に持ち歩くもの ② 避難する時に持っていくもの ③ 家に備蓄しておくもの です。それぞれを分けてリストにしましたので、ご家庭ごとに必要なものを残し、足りないものを足して《我が家のリスト》を作ってください。

常に持ち歩くもの

(すぐに持ち出せるように1つの袋にまとめておく)

現金	
健康保険証	
運転免許証	
通帳・印鑑	
権利証書・その他貴重品	
常備薬(お薬手帳)	
マスク・ばんそうこう	
除菌シート	
携帯電話用充電器	
家族など必要な連絡先のメモ	

小さい子がいる場合、紙オムツやおもちゃ、抱っこひも、母子手帳などもあるとよいようです。

―― 避難用リュックに入れる非常食のヒント ――
① ビスケットやおかきなど、自分が好きで、心を満たすもの
② ゼリー飲料やレトルトおかゆなど、火を使う必要がなく
食えるときに水分を多くとる必要のない食材

避難する時に持っていくもの

(防災素材で登山用リュックなどに背負える重さで)

飲料水	
非常食	
防寒シート	
ビニール袋	
軍手	
タオル	
懐中電灯(電池)	
ラジオ(電池)	
ティッシュ・トイレトペーパー	
着替え(特に下着)	
医薬品	
生理用品	
紙オムツ(乳幼児用・高齢者用)	

家に備蓄しておくもの

飲料水(1人1日3ℓが目安)		レトルト食品		ペーパー類	
生活用水(// 6ℓ //)		調味料		医薬品	
レトルトなどのご飯		ラップ・割りばし・紙皿		生理用品・紙オムツ	
乾パン(缶詰のパンもある)		懐中電灯・ランタン(電池)		石鹼・洗剤・除菌スプレー	
インスタントラーメン・スープ		ラジオ(電池)			
乾燥麺類・乾燥食品		軍手・厚手の手袋			
缶詰(肉・魚・野菜・果物)		防塵マスク			
野菜ジュース		携帯コンロ・カセットボンベ			

お茶・コーヒーやタバコ・お酒などの嗜好品は、心を落ち着かせたりするのに効果的なので、好みに合わせて準備しておくといでしょう。登山用品・キャンプ用品・寝袋なども、いざという時役に立ちます。